

山 口 新 聞

平成 28 年 12 月 2 日 (金)

NO.227

会員の皆さん



農地・水・環境
守ろう地域の手に

みどり豊かなふる里 次世代へ

沖開作水土里保全隊 (山陽小野田市)

227

当地区は山陽小野田市の南西部に位置し、厚狭毛利氏により安政4年(1857年)に完成した58畝の干拓地である。

当保全隊は2007年に結成され、現在は農家39戸と自治会など8団体を構成員に、9人の役員体制で活動している。

多面的機能支払交付金制度による取り組みで、構成員の「厚陽自然とりもどし隊」が中心となって環境活動を展開。ため池の水質悪化による悪臭防止のため、EM菌(有用微生物群)を毎月投入しており、近隣の人々からは「環境が良くなった」と喜ばれている。

厚陽小学校の要請で三、四年生を対象にEM菌の性質や米のとぎ汁、納豆、みそなどの発酵食品を使って実際に培養する講義を実施。培養したEM菌は各家庭に持ち帰ってもら

EM菌の培養講義の様子



い、環境浄化に利

用してもらっている。

地区の水路は土水路で、掃除や草刈りなどに苦勞しているが、交付金を活用し計画的にコンクリート水路に更新している。しかし、高齢化、耕作放棄への危機感が強く、基盤整備について土地改良区とともに検討中である。

今後は地域の合意のもとに整備を行い、みどり豊かなふる里として次世代へ引き継ぎたい。

(代表、植野英樹)
〓 金曜日掲載〓

【メモ】代表〓植野英樹▽会員〓70人、農家(39戸)、非農家(23戸)、山陽土地改良区永安台沖開作地区運営委員会、沖開作地主会、梶上・梶中・梶下・沖開作上・沖開作下の各自治会、厚陽自然とりもどし隊▽設立〓2007年7月8日▽連絡先〓山陽小野田市郡4745の1、植野英樹さん、電話08366・74・8769